

受け継がれる

群馬の獅子舞

令和7年

10月26日(日)

開演 13:00 (開場 12:30)

洋泉興業大泉町文化むら大ホール

(邑楽郡大泉町朝日 5-24-1)

獅子舞講座

13:00~13:30

演題 「群馬県の三匹獅子舞 ~東毛・中毛地域を中心に~」

講師 関 孝夫(立正大学非常勤講師・埼玉民俗の会共同代表理事)

獅子舞公演

13:45~16:00

出演 仙石ささら保存会(大泉町)「牝獅子かくし」

新井八幡宮獅子舞保存会(太田市)「平庭」

上三林ささら保存会(館林市)「入羽舞」「渡り節舞」

清野町野良犬獅子舞保存会(前橋市)

「宮巡り」「飛入り」「伊勢切」「眺め」「狂い」

同日開催

獅子舞体験コーナー 12:15~12:50

貴重な獅子頭や太鼓などを身に着ける体験(協力:出演団体)

展示コーナー 12:15~12:50

出演団体の獅子頭や道具を展示(協力:出演団体)

パネル展示 12:15~16:00

出演団体や県指定の獅子舞を紹介します

定員

先着500名(予約優先) 入場無料

申込方法

応募フォーム(二次元コード)又は電話でお申し込みください
予約期間 8月6日(水)~10月24日(金)

問合せ

群馬県教育文化事業団 文化課 電話 027-224-3960
bunkaka@gunmabunkazigyodan.or.jp

主催 群馬県歴史文化遺産発掘・活用・発信実行委員会(実施:公益財団法人群馬県教育文化事業団)
共催 公益財団法人大泉町スポーツ文化振興事業団 協力 NPO法人ぐんま郷土芸能助っ人塾
後援 群馬県、群馬県教育委員会、大泉町、大泉町教育委員会、前橋市教育委員会、太田市教育委員会、館林市教育委員会
上毛新聞社、NHK前橋放送局、群馬テレビ株式会社、FM GUNMA、第49回県民芸術祭運営委員会

*都合により内容を変更する場合があります。詳細はお問合せいただくか、当事業団ホームページをご覧ください。



応募フォーム



事業団 HP

新井八幡宮獅子舞保存会（太田市）



社伝によると文亀元年（1501）に京都より伝承されたと伝わります。毎年9月15日に近い土・日と11月23日に新井八幡宮境内で奉納します。獅子は法眼獅子、雄獅子、雌獅子の三頭からなり、獅子舞は別名、ささら舞と呼ばれています。舞いの演目は4座あり、「平庭」は子供、「梵前かかり」「橋かかり」「雌獅子かくし」は師匠が舞います。太田市指定重要無形民俗文化財

仙石ささら保存会（大泉町）



大泉町仙石地区に伝わる獅子舞で、災いを防ぎ、病魔よけとして元禄年間（1688～1704）から伝承されています。獅子は、ほうがん、牡獅子、牝獅子からなる一人立ち三匹獅子舞です。舞いは、「平ざさら」「橋がかり」「牝獅子かくし」の3演目があります。神明宮で春祭、農休み、夏祭、秋祭、新穀祭、元旦祭の年6回奉納します。大泉町指定重要無形文化財

上三林ささら保存会（館林市）



約350年前に武州忍（現埼玉県行田市）の下中条より伝えられたといわれています。十五夜に近い日曜日に上三林町の雷電神社に五穀豊穡、無病息災を祈願して奉納します。上三林のささらは、柳生新陰流の棒振りと笛に合わせて舞う獅子舞（先獅子、中獅子、後獅子）で構成します。演目は棒振りが26通り、獅子舞は31切が伝承されています。館林市指定重要無形民俗文化財

清野町野良犬獅子舞保存会（前橋市）



清野町の八幡宮に伝わる獅子舞で、吉岡町の下八幡宮から慶長年間（1596～1615）に伝えられたといわれています。関白龍天流の一人立ち三匹獅子舞で、前獅子、中獅子、後獅子、ササラ、カンカチ、棒遣い、ホラ貝、笛方で構成します。舞は首を左右に振り上げるのが特徴で、荒々しく勇壮な中にも優雅さがあります。前橋市指定重要無形民俗文化財

受け継がれる 群馬の獅子舞

県内の伝統芸能のうち、獅子舞は群馬内全域で盛んに行われ、その伝承地はかつて250か所を越えていました。本公演では、各地域で大切に守り継がれてきた獅子舞についての講座、鑑賞、体験を通して、群馬の伝統芸能の魅力を紹介します。



昨年度の様子を YouTube で公開 ▶▶▶▶



洋泉興業大泉町文化むら

邑楽郡大泉町朝日 5-24-1 TEL 0276-63-7733（カーナビ専用）

アクセス

東武小泉線東小泉駅から徒歩 約20分

東武伊勢崎線太田駅から自動車 約15分

JR 高崎線熊谷駅から自動車 約35分

北関東自動車道太田桐生インターから 約20分

東北自動車道館林インターから 約30分

関越自動車道東松山インターから 約60分